

異文化と 心通わせ

81

村田 佳子



競泳選手だった大学時代、調子を崩し練習ができなくなつたことがあります。その間、ふとしたきっかけでシンクロナイズドスイミング（以下シンクロ）をほんの少し経験する機会がありました。私が通つた筑波大学の水泳部には競泳のほか、水球飛ひ込み、シンクロルス五輪銅メダリストの本間（旧姓元好）美和子先生が指導にあたっていました。先生は筑波大学で教鞭^{きょうべん}を執り研究を続ける傍ら、近くのスイミングクラブでジュニア選手の選手がいました。中でもシンクロにはロサンゼルス五輪銅メダリストの木村（旧姓元好）千賀子先生が指導にあたっていました。先生は筑波大学で教鞭^{きょうべん}を執り研究を続けました。先生は筑波大学で教鞭^{きょうべん}を執り研究を続けました。先生は筑波大学で教鞭^{きょうべん}を執り研究を続けました。

はとうてい困難でした。体の中心から手足の指先まで高い筋力や持久力、柔軟性を問われる競技だと知りました。楽しむまではまだまだでしたが、競泳とは違った水とのかわり方を初めて知る経験ができました。

西井で「佳子ちゃん、競泳して競泳の練習」に復帰したのんやつたら、シンクロ遊びに、口体験で私は競技そのものよりも当時、プールまでの運転中、本間先生が誘ってくれまし

た。シンクロ何げなくおっしゃった二つの言葉が強く心に刻まれた。この二つの言葉を執り研究を続

く。あれから約10年後、先生は審判員としてアーテネンピックに行きたいっておっしゃいましたよね?達成したんですね」と言うと「そんなん、言うた?」。あいかわらずさ

る先生の横顔をあらためて観たのを覚えていま



昨日より今日、今日より明日

私は先生の車で練習に何度も連れて行ってもらひ、ジニア選手に交じって基礎体力のトレーニングや浮いた足を挙げたりするシンクロの基礎的な練習と一緒に行つたのです。

泳げるといはい使う筋肉がまるで違うので、演技をするなどと云ふこと

昨日より今日

た私は一番上の線に手を届くよ
うジャンプしたいねん。北京五輪、スポーツ以外のさまざまな話題が取
上げられてますが私ももう一つは「夢があんねん」。今から選手の挑戦を見
るのが楽しみです。そして先生のように選手以外の競技にかかる方々
が夢を実現させていくのだとと思うと五輪のテレビを見て見る気持ちも少し
変わるものがあるが、先生の何げなく放った言葉とあまりにも自然な

(鶴岡市出身、「コーチングシステムズ」)